令和6年度学校評価実施報告

1 自己評価について

(1) 本年度の重点目標

- 1 創造型実践技術者の育成
- 2 常に「カイゼン」を意識した校務への取組。
- 3 生徒の状況に応じた教育活動の充実
- 4 地域と連携・協働した教育活動の推進
- 5 進路指導の充実。

(2) 評価項目

- ・本年度の重点目標を受けて、各部・科・学年において設定した。

(3) 評価の観点、評価基準等

- ・評価項目を設定した部・科・学年において設定した。

(4) 評価実施時期及び実施方法

- ・年度末、検定試験等については結果が出次第、設定した基準に従って評価した。
- ・生徒、保護者アンケートについては以下の①～③のアンケートを実施した。
 - ① 生徒の学校生活アンケート……5月28日、9月17日、1月28日
 - ② 生徒・保護者による学校評価アンケート……………11月11日
 - ③ 生徒による授業アンケート ……………7月16日、12月3日

(5) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

- ① P T A 学年部会、P T A 理事会等において、保護者アンケート及び生徒生活アンケートの結果に基づく内容を保護者に公表した。
- ② 学校評価全体の概要を、P T A 新聞、年度末に本校ホームページ上で公開した。

(6) 評価結果

全54項目中、評価Aが29項目、Bが21項目（AとBとで全体の92.6%）

(7) 中間的な評価を実施し見直しを行ったこと

特になし

(8) 評価結果に基づく今後の改善方策等

- ① 普通教科、専門教科や受験する資格の難易度も上がるので、意欲的に取り組む力が身に付くように、指導を行っていく。
- ② スマートフォンやSNSについて、継続して指導に取り組み、スマートフォンを使用する際の規範意識とマナーの意識を継続させる。
- ③ 企業とのマッチングや面接での対応での問題を解決するため、進路指導をさらに強化する。
- ④ 各学年が進路指導部と連携しながら、進路ガイダンス等を通して、もっと進路について意識させていく。

2 学校関係者評価について

(1) 評価組織（評価者）

学校関係者評価委員会（学校評議員会が行う）

(2) 評価実施時期及び実施方法

① 7月「第1回学校関係者評価委員会」

昨年度の学校評価を基に、本年度の重点目標にどのように取り組んでいくかを説明し、委員から意見を聴取した。

② 1月「第2回学校関係者評価委員会」

今年度の学校評価結果の状況と、次年度に向けての課題と改善方策等について、委員から意見を聴取した。

(3) 評価結果の公表時期及び公表の方法等

年度末に学校評価をまとめ、PTA新聞やホームページなどを利用し公表する。

(4) 評価結果

評議員の方々から、以下のような意見をいただいた。

- ・ 昨年 of 就職状況について、会社の方々からなかなか来てもらえないという話があったが、状況が分かった。
- ・ 本校のイメージとして、元気に挨拶してくれる、素直でいい子が多いなどの意見があった。また、新聞で活躍が紹介され、地域の自分たちも誇らしい。
- ・ 今後、学校として、情報発信や地域活動を行うとよい。
- ・ 就職1年後の離職率などを調べる必要があるのではないかと。適性を分からずに会社に入ってしまうこともある。進路指導について先生方がよりアドバイスをしてもよいと思う。
- ・ 評価については、学年別とし、同じ生徒の評価を追いかけるような形の方が生徒の変位が分かりやすい。
- ・ 学校運営協議会については、文科省からの成功事例が出てきており、子どもたちを評議会に入れて一緒に議論をしてはどうか。
- ・ 学校運営協議会が中学校ではうまく行っていない現状があり、何かに絞って分科会などを実施してもいいのではないかと。

(5) 評価結果に基づく今後の改善方策等

引き続き、小中学校や地域等に対して、本校の学習内容等の周知・連携を進めるとともに、ICT教育の充実に向けて、積極的な研修の実施や他校の効果的な実践事例等の情報を収集・共有する。さらに、家庭での学習の取り組みに向けても、生徒の興味・関心を高める魅力的な質にこだわった授業の実践や、生徒が将来の目標を持って学習・学校生活を営めるよう、各学科・各教科がより一層連携し、計画的に取り組んでいく。

3 学校からの情報提供について（学校評価に係る取組を除く）

(1) 提供内容

- ・ 学校行事予定
- ・ 生徒特別活動実績
- ・ 職員紹介
- ・ PTA活動概要
- ・ 保健室利用状況
- ・ 各科学習内容、活動内容

(2) 提供方法

- ・真工高ホームページ
- ・中学校訪問（学校紹介）時の資料
- ・クラスだより
- ・P T A だより